

【令和七年度 久留米工業大学 一般選抜入学試験 個別学力試験 出題意図】

【中期一般選抜（2月28日実施）】

大 問	教科・ 科目名	出題意図
第 1 問	国語	<p>宮崎裕助氏による評論文「情報過多の現代で「勇気を持って判断する」にはどうすれば...?カントが教えてくれること」を題材としました。この文章は、カント哲学の「反省的判断力」に焦点を当て、情報過多やマニュアル化が進む現代社会において、個別的・一回的な状況で適切な判断を見出す能力の重要性を論じたものです。出題を通じて、受験者が、文章の論理的展開や筆者の主張を粘り強くたどる読解力、専門的な概念（反省的判断力）を正確に理解し要点を過不足なく要約・記述する力、本文内容の真偽を正確に判断する力、および基本的な漢字の知識を身につけているかを確認することを目的としました。</p>
第 2 問		<p>山極寿一氏による評論文「闘争は人間の本性ではないゴリラに学ぶ調和の努力」を用いました。人類学・霊長類学の知見に基づき、人間の脳の進化や暴力の起源に関する通説的な誤解を解き明かす文章を題材としました。出題を通じて、西欧近代の二元論的な人間観に対する批判や、東洋的な「間（容中律）」の考え方を理解し、筆者の主張を粘り強くたどる読解力を問います。設問では、因果関係の把握、論拠の抽出と記述、および専門的概念の理解度を確認するとともに、基礎的な語彙・漢字の知識を測ります。</p>